



# 入間野 愛

狭山市立入間野中学校便り  
令和4年度修了式特別号  
発行者 和田雅士

## 着実に成長している生徒、充実期から発展期へ！

### 一年間、大変お世話になりました。

卒業式前日に開いた桜の花も、今は満開の素晴らしい日となりました。本日、令和4年度に計画された教育活動を全て終了し、修了式で1、2年全員の修了証書を代表生徒に手交しました。令和4年度1、2年生の課程を修了し、晴れて4月から2、3年生に進級となります。おめでとうございます。この1年間、保護者の皆さまにおかれましては、どのようにお感じになりましたか。時は早く過ぎましたか。ゆっくりと感じましたか。お子さまの成長を感じられましたか。

入間野中学校の教職員は、生徒の着実な成長を確信しています。

先日、本校に出入りの業者の方から Fax でしたが、とある感謝のお手紙をいただきました。本校はセキュリティ対策の一環で、正門の鉄扉を閉めています。業者の方からすると車から降りて重い鉄扉を開け、車に再度乗り、入門してからまた降車して鉄扉を閉めることになるので一苦労です。その日も同じような場面で、本校の生徒が自主的に鉄扉を開け、作業する場所まで丁寧に案内したそうです。その時の対応と他の生徒の爽やかなあいさつにいたく感動したようです。親切な対応をした生徒からすれば、困った人を助けるという当たり前の事をしただけかもしれないし、爽やかに挨拶した生徒にとっても人にあつたら挨拶をするのは当たり前だったかもしれません。でも、わざわざ後日、手紙を通して、感謝と感銘した気持ちを伝えずにはいられなかったくらい、本校の生徒は大人の心を動かしたのです。これって些細な事かもしれませんが、人の心を動かす力を身につけたという成長の証だと思います。

さて、3月11日(土)の朝、東日本大震災の被災者等の追悼を目的とした学校朝会を行い、校長講話と動画の視聴、黙とうをささげるという内容でした。この朝会の感想を生徒に書いてもらいました。感想を読んで思ったことは、本校の生徒の感性が育っているなということです。防災への意識はもちろんのこと、自然への畏敬、被災して亡くなった方への追悼、被災で家族を亡くなった方に寄り添う気持ち、自分にどんなことができるのかなど、13歳から15歳の中学生でも精一杯感じとり、心を揺らしていました。このことから生徒は着実に成長し、心のある成人に近づいていると思いました。

今、入間野中学校の生徒集団は充実期にいと評価しています。でも、まだまだ伸びる生徒、まだまだ可能性を秘めている生徒たちです。次は入間野中学校生徒集団の発展期にしましょう。入間野中学校教職員は、現状に甘んじず、もっともっと目の前の生徒を伸ばしてあげたいと思っています。次年度も、生徒に寄り添いつつ、時には厳しく、時には優しく、「厳而慈(げんに しこうして じ)」の姿勢で向き合い、支援をしてみたいです。保護者の皆さまにおかれましては、春休みにぜひ、お子さまと話す時間をつくっていただき、進級に向けて励ましの言葉をかけてあげてください。

それでは、4月10日(月)、笑顔で元気な新2年生、新3年生に会うのを楽しみにしています。



3月23日 1年生のまとめ集会



修了式には満開となる校地の桜